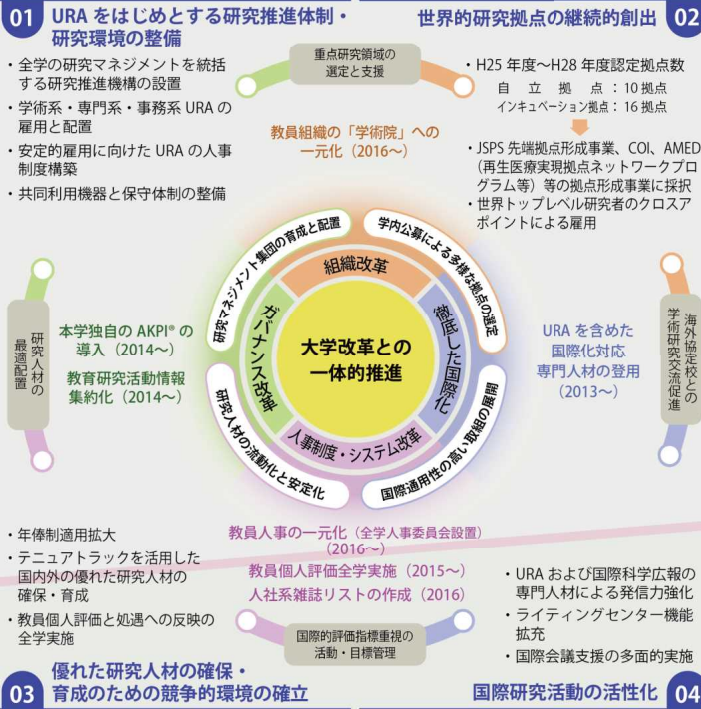


「研究大学強化促進事業」中間評価 進捗状況概要 広島大学

目的

世界大学ランキングトップ100の総合研究大学に躍進すべく、4つの強化方針(01~04)に基づき、徹底した分析を行い、本学の特長ある学際・融合領域の創出と国際研究ネットワークの構築等により、国際的評価向上を図る。

これまでの実績・取組状況



状況分析に基づき明らかとなった新たな課題

- 課題(1) 新たな重点研究領域の探索
- 課題(2) 大型プロジェクト・融合型研究の創出
- 課題(3) 人事制度と研究環境の整備
- 課題(4) 国際共同研究の推進体制
- 課題(5) 研究シーズと社会ニーズのマッチング機能

今後5年間の将来構想

世界大学ランキングトップ100になるべく、新長期ビジョン SPLENDOR PLAN 2017 を策定し、新たに「社会連携の推進」を加えた5つの戦略と強化方針で、広島大学の研究力をより高度化し、広島大学を世界的な教育研究拠点へと発展させる。

知の世界的拠点

世界大学ランキング
トップ100



中間評価結果

評点区分: A

全体に対する所見

IR の分析を通じた戦略的な取組によって、全般的に指標が向上しているなど、順調に進捗しており、更なる進展が期待できる。若手研究者の確保及び定着への対策が必要と考えられるため、教員人事制度の見直し等の検討を含め、引き続き対策の実施が望まれる。

当初構想・計画の進捗状況に対する所見

大学の強み、弱みを分析し、客観化することにより、研究力強化に取り組んでおり、個人評価の点数化、処遇への反映等をはじめとした全学的な制度改革に積極的に取り組んでいる。

今後5年間の将来構想に対する所見

高度な IR 機能の構築、教員組織の一元化などの施策によって、目標達成に向けた将来構想がなされていると判断される。一方で、若手人材育成プランが具体化されていないため、特化する領域を強化するための研究者の獲得や若手研究者育成に向けた明確な戦略が必要であると考えられる。

新長期ビジョン SPLENDOR PLAN 2017
100年後にも世界で光り輝く大学へ

AKPI[®] 1000 (目標)